

基礎数学B 講義演習プリント・出席確認

担当 石川 剛郎 (いしかわ ごうお) (2015年度後期)

No.9 西暦2015年10月28日 (水2)

解答例

学生番号

氏名

9-1. (X, d) を距離空間, $A, C \subset X$ とする. このとき, $\overline{A \cup C} = \overline{A} \cup \overline{C}$ を示せ.

\supset を示す. $A \cup C \supset A$ より $\overline{A \cup C} \supset \overline{A}$.

$A \cup C \supset C$ より $\overline{A \cup C} \supset \overline{C}$ かつ $\overline{A \cup C} \supset \overline{A} \cup \overline{C}$

\subset を示す.

$x \in \overline{A \cup C}$ とし, $x \notin \overline{A}$ かつ $x \notin \overline{C}$ とする.

$x \notin \overline{A}$ だから $\exists \delta_1 > 0, B(x, \delta_1) \cap A = \emptyset$

$x \notin \overline{C}$ だから $\exists \delta_2 > 0, B(x, \delta_2) \cap C = \emptyset$

$\delta = \min\{\delta_1, \delta_2\}$ とおくと

$B(x, \delta) \cap (A \cup C) = \emptyset$

かつ $x \notin \overline{A \cup C}$ 矛盾

したがって $x \in \overline{A}$ かつ $x \in \overline{C}$ かつ $x \in \overline{A} \cup \overline{C}$ //

9-2. (X, d) を距離空間, $x \in X, r > 0$ とする. $B(x, r) = \{y \in X \mid d(y, x) < r\}$ が X の開集合であることを示せ.

$y \in B(x, r)$ とする. $d(y, x) < r$ である

$\delta = r - d(y, x) (> 0)$ とおくと

$B(y, \delta) \subset B(x, r)$ である.

任意の $z \in B(y, \delta)$ とすると

$d(z, x) \leq d(z, y) + d(y, x) < \delta + d(y, x) = r$ かつ $z \in B(x, r)$
 (したがって y は $B(x, r)$ の内点 かつ $B(x, r)$ は X の開集合)

≪「数学の仕組み」に関するメモ≫

1. $A \cup C \supset A$ だから $\overline{A \cup C} \supset \overline{A}$ が成り立つ. $A \cup C \supset C$ だから $\overline{A \cup C} \supset \overline{C}$ が成り立つ. したがって, $\overline{A \cup C} \supset \overline{A} \cup \overline{C}$ は成り立つ.

$A \cup C \subset \overline{A \cup C}$ を示すために, $x \in \overline{A \cup C}$ とする. 任意の $\varepsilon > 0$ に対して, $B(x, \varepsilon) \cap (A \cup C) \neq \emptyset$ である. したがって, $B(x, \varepsilon) \cap A \neq \emptyset$ または $B(x, \varepsilon) \cap C \neq \emptyset$ はわかる. ただし, ε によって, $B(x, \varepsilon) \cap A \neq \emptyset$ なのか $B(x, \varepsilon) \cap C \neq \emptyset$ なのかは定まらない. こういう場合は背理法を適用するとよい. $x \notin \overline{A \cup C}$ と仮定する. つまり, $x \notin \overline{A}$ かつ $x \notin \overline{C}$ とする. すると, $\delta > 0$ が存在して, $B(x, \delta) \cap A = \emptyset$ となる. また, $\delta' > 0$ が存在して, $B(x, \delta') \cap C = \emptyset$ となる... といった論法で矛盾を導くことができる.

2. $y \in B(x, r)$ とする. y が $B(x, r)$ の内点であることを示す.

コラム. (1) $0 < s < r$ のとき, $B(x, s) \subset B(x, r)$ が成り立つ. (2) $D \cup E = \{x \in \mathbf{R} \mid 0 < x\} \subset \mathbf{R}$ のとき, $0 \in \overline{D}$ または $0 \in \overline{E}$ が成り立つ. (1) は明らか. (2) は次のように示すことができる. $0 \notin \overline{D}$ かつ $0 \notin \overline{E}$ と仮定する. $\delta > 0$ が存在して, $(-\delta, \delta) \cap D = \emptyset$ となる. また $\delta' > 0$ が存在して, $(-\delta', \delta') \cap E = \emptyset$ となる. $\delta'' = \min\{\delta, \delta'\}$ とすれば, $(-\delta'', \delta'') \cap (D \cup E) = \emptyset$ となり, $(-\delta'', \delta'') \cap (D \cup E) = (-\delta'', \delta'') \cap \{x \in \mathbf{R} \mid 0 < x\} = (0, \delta'') \neq \emptyset$ に矛盾する. したがって, 背理法により (2) が示される.